

令和6年度吉浦中学校区研究推進計画

吉浦中学校区 校番（15）呉市立吉浦中学校

校長名 河本 英希

1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

2 目指す児童生徒像

○自分のよさに気づき，そのよさを豊かに表現できる児童生徒…自分を大切にする（自利）

○相手を思いやる心もち，友だちと力を合わせる児童生徒 …相手を大切にする（利他）

○生まれてきたことを喜び，家族・地域に感謝・貢献する児童生徒

…家族・地域を大切にする（貢献）

3 育成をめざす資質・能力（具体の姿）

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
	知識，技能	思考力・判断力・表現力	主体性
後期	・学んだ知識や技能を活用して課題解決することができる。	・未知の状況にも対応できるよう，尋ねたり，調べたりすることで，ものの見方や考え方を広げ深めることができる。	・自分から進んでよりよい自分のやり方を選び，試行錯誤しながら課題解決しようとしている。
中期	・学んだ知識や技能を活用することができる。	・尋ねたり，調べたりして，問題解決に必要な情報を見付け，選び出すことができる。	・自分から進んでよりよい自分のやり方を見付け，課題解決しようとしている。
前期	・学んだ知識や技能を身に付けることができる。	・尋ねたり，調べたりして，関係がありそうなものを見付けることができる。	・自分から進んで自分のやり方を見付け，課題解決しようとしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

自分から進んで課題解決に取り組むことができる児童生徒の育成

～「チャレンジ」（選択肢と自己決定）の取組を通して～

(2) 設定理由

吉浦中学校区では，昨年度「小中で創る『未来の学び』実践事業」の2年指定を受け，研究主題を「自分から進んで課題解決に取り組むことができる児童生徒の育成 ～「チャレンジ」（選択肢と自己決定）の取組を通して～」と設定し，これまでの取組を公開授業研究会として提案した。これは，「学びの主体は子どもたち」という原点に立ち返り，個別最適な学びの視点を取り入れ，学びの選択肢を増やし，自己決定させる「チャレンジ」の場面を，授業や単元，活動等の中に効果的に仕組む取組である。また，基礎的・基本的な力をつける取組は継続しつつ，「育成を目指す資質・能力」として，「知識，技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」の3つに整理し，とりわけ研究主題と直結している児童生徒の「主体性」の育成を重点とすることとした。

令和5年度の成果と課題は，以下のような結果として表れた。

【視点1】全国学力・学習状況調査，児童生徒質問紙調査等における肯定的評価が高まったか。

	小学校		中学校	
	1 学期	2 学期	1 学期	2 学期
授業で課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりする。	86.2%	90.7%	84.0%	80.5%
自分の課題を考え，家庭学習の計画を立てることができる。	85.8%	88.5%	80.5%	70.4%
新しい問題に出会ったときに解いてみたいと思う。	92.3%	93.4%	80.5%	73.1%
自分の考えを表現しようとしている。	85.8%	86.2%	86.1%	86.1%
学んだことを活用しようとしている。	87.1%	92.0%	93.7%	94.5%

【視点2】学力調査での通過率が全国平均以上になったか。

○小学校の標準学力調査

6 学年中 4 学年（1 年・2 年・3 年・4 年）が全国平均以上【国語・算数】

○小学校の全国学力・学習状況調査の通過率（％）

	国語	算数
小学校の平均	66.0	54.0
全国の平均	67.2	62.5

○中学校の標準学力調査（1・2 年）及び全国学力・学習状況調査（3 年）の通過率（％）

	1 年			2 年			3 年	
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学
中学校の平均	50.6	48.8	46.2	48.2	44.9	46.5	62	44
全国の平均	55.1	50.4	49.7	49.3	47.4	49.8	69.8	51.0

【視点3】児童生徒アンケートにおける肯定的評価が高まったか。

○小学校の重点項目に係る意識調査

検証の指標	1 学期	2 学期
自分には，よいところがあると思う。	81.9%	83.2%
今住んでいる地域には，よいところがあると思う。	94.4%	97.8%
今住んでいる地域のために，地域の行事などに参加している。	85.3%	88.9%
将来の夢や目標をもっている。	88.8%	92.9%
将来の夢や目標に向かって努力している。	85.3%	90.7%
よいことと悪いことを判断し，自分が正しいと思ったことを行っている。	85.3%	91.6%
人の気持ちが分かる人になりたいと思う。	96.6%	99.1%
相手のことを思いやり，親切にしている。	90.1%	93.8%
学校のきまりを守っている。	90.1%	94.7%
みんなで協力して，学習したり生活したりしようとしている。	93.7%	97.8%
自分の役割や責任をもって取り組もうとしている。	93.1%	96.4%

○中学校の重点項目に係る意識調査

検証の指標	1 学期	2 学期
自分には、よいところがあると思う。	84.0%	79.5%
今住んでいる地域には、よいところがあると思う。	91.6%	88.0%
今住んでいる地域のために、地域の行事などに参加している。	66.5%	68.5%
将来の夢や目標をもっている。	78.8%	83.4%
将来の夢や目標に向かって努力している。	82.5%	76.8%
よいことと悪いことを判断し、自分が正しいと思ったことを行っている。	93.7%	92.5%
人の気持ちが分かる人になりたいと思う。	98.6%	98.2%
相手のことを思いやり、親切にしている。	96.5%	95.4%
学校のきまりを守っている。	96.5%	97.2%
みんなで協力して、学習したり生活したりしようとしている。	97.2%	94.5%
自分の役割や責任をもって取り組もうとしている。	95.8%	97.2%
今住んでいる地域に、貢献しようとしている。	84.7%	81.4%

視点1において、小学校では全ての項目において肯定的回答が増えている。これは、全学年・全学級が、公開研究会を含め2回の研究授業を通して研究実践したことの成果と捉える。中学校においては、「学んだことを活用しようとしている。」の項目に伸びがみられた一方、「新しい問題に出会ったときに解いてみたいと思う。」が、大きく下回っているのは、チャレンジの取組により意欲は高まっているものの、その課題や選択肢が生徒の実態やニーズに合っていたのかを検証・改善していく必要がある。そのほかの項目では1学期より数値が下回っているが、生徒の意欲は概ね高いと思われる。

視点2では、昨年度と比較すると全国平均を上回る学年が増えている。特に下学年から変容が見られ、これは本中学校区の取組が徐々に効果を上げ、学力の向上につながりつつあることを示している。

視点3においても、小学校においては全項目で高水準でありながら数値の伸びが見られた。中学校では、自分自身に対して（「自分には、よいところがあると思う。」「将来の夢や目標に向かって努力している。」）は厳しい評価をしつつも、地域や集団の中でよりよく生きたいという意欲は高まっている。これは地域を題材とした総合的な学習の時間の取組や積極的な生徒指導及び集団づくりの推進の成果と捉える。

以上のことから、今年度も引き続き、さらなる学習意欲・学力の向上に向けて、「めあて」「チャレンジ」「振り返り」の取組を充実させていく。特に今年度は「振り返り」の在り方について焦点を当て、授業研究を行う。研究が全教職員のものとなるよう、情報の共有化や意識統一を図る。

(3) 研究仮説

児童生徒が自ら選び自分で決めて挑戦する「チャレンジ」（選択肢と自己決定）の取組を継続的かつ効果的に行えば、自分から進んで課題解決に取り組むことができる児童生徒を育成することができるであろう。

5 研究内容

確かな学力推進部会【授業改善・評価】

① 教科等の本質に迫る「考える授業づくり」【授業改善】

ア 主体的な学びのための多様で効果的な指導方法の工夫

(ア) 主体的な学びを実現するための「めあて」

(イ) 主体的な学びを引き出す「「チャレンジ（選択肢と自己決定）」の工夫

(ウ) 深い学びを実現するための「振り返り」

② 学習指導要領の趣旨を踏まえた評価の在り方【評価】

豊かな心教育推進部会【計画・開発】

① 教科横断的なカリキュラム・マネジメントの推進【計画・開発】

ア 総合的な学習の時間を中心に、各教科等教育活動全体を通して、郷土についての理解を深め、そのよさに気付かせる。

② 積極的な生徒指導及び集団づくりの推進【計画・開発】

ア 教育相談の充実（ＱＵの活用等）

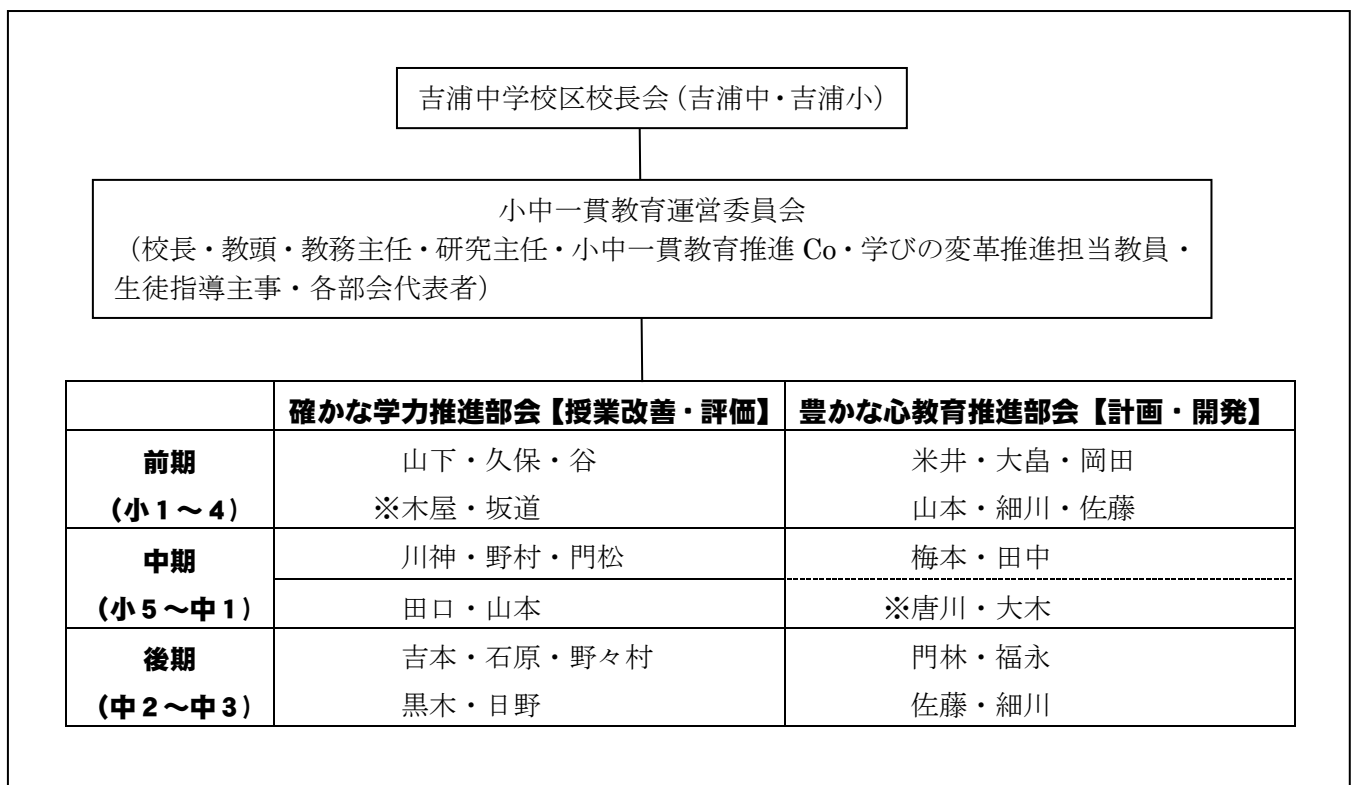
イ 学級活動や児童会、生徒会活動を充実させ、自己肯定感を高める。

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	達成目標
【視点１】主体的な学びに関わる項目で肯定的評価が高まったか。	全国学力・学習状況調査及び「基礎・基本」定着状況調査等，児童生徒質問紙調査(4,5月)	児童生徒の肯定的評価	肯定的評価８０％以上 (１２月)
【視点２】児童生徒の学力が向上したか。	○標準学力調査 小学校：１月 【国語・算数】 中学校：６月と <u>１月</u> (３年は <u>１１月</u>) 【国語・数学・英語】	全国平均との差あるいは前回実施調査との差	○小学校 全国平均以上 ○中学校 全国平均以上の教科・学年が６月より増える
【視点３】重点項目に関わる意識調査で肯定的評価が高まったか。	児童生徒意識調査 (５月・１２月)	児童生徒の肯定的評価	児童生徒の肯定的評価が５月実施より上昇（１２月）

7 推進体制等

(1) 推進組織



※各部会代表者

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小，小→中）

○ 中学校教員による乗り入れ授業

・ 吉浦小学校第6学年 算数科，外国語科（各1時間 2・3学期実施）

○ 小学校栄養教諭による中学校の乗り入れ授業実施

・ 吉浦中学校1年各学級 → 1時間（計2時間）

・ 吉浦中学校2年各学級 → 1時間（計2時間）

・ 吉浦中学校3年各学級 → 1時間（計2時間）

イ 小学校教科担任制等

○ 実施計画なし

8 推進計画

月 日	実施内容	備考
4 月 5 日	小中一貫運営委員会	
4 月 1 8 日	○全国学力・学習状況調査	
4 月 1 9 日	○第 1 回全体会 (年間計画・研究推進・各部会の研究推進計画の作成)	指導主事
5 月	○全国学力・学習状況調査 質問紙調査 (中学校) ○Q U 実施 (中学校・1 回目) ○児童生徒への意識調査アンケートの実施及び分析	
5 月	○広島県「基礎・基本」定着状況調査質問紙調査	
7 月	小中一貫運営委員会	
8 月	○第 2 回全体会 (吉浦中学校)	指導主事
1 0 月	○Q U 実施 (中学校・2 回目) ○さつまいも収穫交流会 (小 1 ・中 2) ○第 3 回全体会 吉浦小学校 授業研究 小学校 () 教諭	指導主事
1 1 月	○第 4 回全体会 吉浦中学校 授業研究 中学校 () 教諭	指導主事
1 2 月	○研究のまとめ開始 ○児童生徒意識調査アンケートの実施及び分析	
1 月	小中一貫運営委員会 (研究のまとめ・成果と課題の整理) 【○吉浦中入学説明会 (希望者は部活動見学あり)】	
3 月	○令和 7 年度研究推進計画立案	

8 その他

- ・小中一貫教育だよりを年に 2 回，発行する。(2 学期，3 学期)